残存しているので、左のチギオンから正中矢状面までの距離を測り、これを 2 倍することによって頬骨弓幅の推定値を算出してみると、 $\begin{bmatrix} 68 \, \text{mm} \times 2 = 136 \, \text{mm} \end{bmatrix}$ となる。また中顔幅は $104 \, \text{mm}$ で、顔面の幅径は著しく大きいものではないが、最小前頭幅が小さいので、幅径は広くみえる。顔面の高径は、上顎骨歯槽突起に骨吸収が生じており、顔高および上顔高はともに計測できない。しかし観察したところでは顔面の高径は著しく低く、低顔である。

眼窩幅は44mm(右)、43mm(左)、眼窩高は32mm(右)、33mm(左)で、眼窩示数は72.73(右)、76.74(左)となり、右側はchamaekonch(低眼窩)に、左側はmesokonch(中眼窩)に属している。

鼻幅は25 mm、鼻高は47 mmで、鼻示数は5319となり、 chamaerrhin (低鼻) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が19mm、鼻根横弧長は23mmで、鼻根彎曲示数は82.61となり、前頭突起水平傾斜角は74度で小さく、鼻骨の隆起はやや強いことがうかかえる。また鼻根角は128度、鼻根陥凹示数は1739となり、鼻根部の陥凹はやや深い。

側面角は鼻側面角のみが計測可能で、その角度は86度である。

3. 下顎骨

完全に残存しており、諸径はあまり大きいものではないが、筋突起は大きく、下顎枝の幅径も大きい。

4. 歯

上顎骨歯槽突起および下顎骨の歯槽部には骨の萎縮や吸収が認められるが、歯は7本 釘植しており、これを歯式で示せば次のとおりである。

✓ : 不 明○ : 歯槽開存

×:歯種閉鎖 以下同じ

咬耗度はBrocaの1~3度で、歯によって咬耗状態に差が認められる。

(2) 四肢骨

1) 上肢骨

1. 上腕骨

左右とも骨体が存在していた。諸径はやや小さいが、三角筋粗面は良く発達している。

推定中央位での最大径は21mm(右、左)、最小径は16mm(右、左)で、骨体断面示数は76.19(右、左)となり、扁平性はあまり強いものではない。また中央周は61mm(右)、63mm(左)、最小周は56mm(右)、58mm(左)で、骨体は細い。

2. 橈 骨

右側は完全で、左側も橈骨頭を欠く以外は完全に残存していた。両側とも骨間縁の近位部には結節状の隆起が認められる。

長径は短かく、諸径はやや小さい。

3. 尺 骨

左側は肘頭を欠損しており、右側は遠位端のみが残存していた。 長さは短かく、骨体の諸径はやや小さい。

2) 下肢骨

1. 寛 骨

左右とも腸骨翼の一部を欠失している以外は完全である。全体の径はあまり大きい ものではないが、寛骨臼はやや大きく、また大坐骨切痕の角度および恥骨下角は小さ い。

2. 大腿骨

右側は大転子と外側顆とを、左側は大転子と遠位端とを欠損していた。長径は著しく短かく、骨体の諸径もやや小さいが、粗線の発達は比較的良好である。

最大長は383mm、骨体中央矢状径は29mm(右)、28mm(左)、中央横径は24mm(右、左)で、骨体中央断面示数は120.83(右)、116.67(左)となり、骨体は後方へやや突出し、弱い柱状形成の像を呈しているが、縄文人にみられる程著明なものではない。中央周は86mm(右)、84mm(左)で、骨体はあまり大きいものではない。また上骨体断面示数は92.31(右)、8889(左)となり、扁平性はほとんど認められない。

3. 脛 骨

左右とも両端を欠損していた。長径は短かく、骨体の諸径もあまり大きいものでは ない。ヒラメ筋線の発達は弱いが、後面には鉛直線が認められ、中央断面型は両側と もヘリチカのⅣ型を呈している。

推定中央位での最大径は30 mm(右、左)、横径は22 mm(右、左)で、中央断面 示数は 73.33 (右、左) となり、両側とも扁平性は認められない。また骨体周は 81 mm (右) 、80 mm (左) 、最小周は72 mm (右、左) で、骨体はやや細い。

4. 腓 骨

左右とも骨体の一部が残存していたにすぎない。

(3) 推定身長値

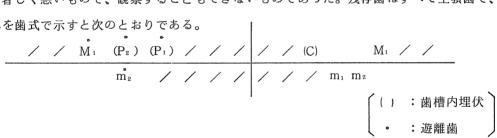
右大腿骨と右橈骨のそれぞれ最大長からPearson および藤井の式から推定身長値を 算出すると第24表のとおりである。Pearson の式から算出すると大腿骨からは153.31 cm、 橈骨からは 15 4.62 cm となり、 低身長である。

(4) 性別。年令

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が小さいことや眉上弓の隆起が強いことから男性 と考えられ、年令は縫合が内板では癒合し、外板にも一部癒合が認められることから、熟 年と推定される。

57年 4 号墳 1 号人骨 (性別不明·小児)

現場では後頭骨、上顎骨のそれぞれ一部と歯とを確認したが、後頭骨と上顎骨の保存状態 は著しく悪いもので、観察することもできないものであった。残存歯はすべて上顎歯で、こ れを歯式で示すと次のとおりである



第1大臼歯は既に萠出しているか、第1小臼歯は未萠であり、また犬歯の歯根の形成状態 を含めて検討した結果、年令は7~8才(小児I期)位と考えられる。性別は不明である。

57年5号墳1号人骨(男性·熟年)

(1) 頭 蓋

右側頭骨岩様部の大部分と後頭骨の右側半および右側の頰骨弓を欠損している以外は完全に残存していた。

1. 脳頭蓋

外後頭隆起はやや突出しているが、乳様突起はやや小さい。縫合は三主縫合とも内板では完全に癒合しており、外板においても部分的に癒着が認められる。

頭蓋最大長は 184mm、頭蓋最大幅は 137mm、バジオン・ブレグマ高は 137mmで、頭蓋長幅示数は 74.46 、頭蓋長高示数は 74.46 、頭蓋幅高示数は 100.00 となり、頭型としては、 dol_1cho- , ortho-, akrokran (長・中・尖頭) に属している。

また頭蓋水平周は517㎜である。

2. 顔面頭蓋

眉上弓の隆起は著しく強いものではないが、やや隆起している。鼻根部は狭く、鼻骨もやや隆起しているが、鼻根部の強い陥凹は認められない。

右頰骨弓を欠損しているので、頬骨弓幅の計測はできないが、左側は完全に残存しており、チギオンを求めることができるので、左のチギオンと正中矢状面までの距離を測り、これを 2倍して頬骨弓幅の推定値を算出してみると、 $\begin{bmatrix} 67\,\text{mm} \times 2 = 134\,\text{mm} \end{bmatrix}$ となる。中顔幅は $98\,\text{mm}$ で、幅径はあまり大きいものではない。顔面の高径は、顔高が $113\,\text{mm}$ 、上顔高は $64\,\text{mm}$ で、低顔の傾向が著しい。ウィルヒョーの顔示数および上顔示数はそれぞれ 115.31、6531 となり、両示数とも小さい。

眼窩幅は 42mm(右、左)、眼窩高は 33mm(右、左)で、眼窩示数は 78.57 (右、左)となり、両側とも mesokonch (中眼窩) に属している。

鼻幅は 28 mm、鼻高は 50 mmで、鼻示数は 56.00 となり、 chamaerrhin (低鼻) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が18 mm、鼻根横弧長は22 mmで、鼻根彎示数は81.82 となり、鼻骨はやや隆起している。また鼻根角は136度でやや小さく、鼻根陥凹示数は20.69で大きい。すなわち、鼻根部は狭く、鼻骨の隆起はやや強い。しかしその隆起は鼻骨の途中からおきているので、鼻根部の陥凹は弱い。

側面角は、全側面が83度、鼻側面角は85度、歯槽側面角は75度で、歯槽性の突顎は強くはないが、わずかに突顎傾向が認められる。

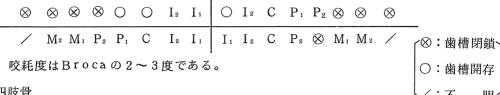
3. 下顎骨

右側下顎枝と左側下顎角を欠損していたが、下顎体の保存状態は良好である。諸径は

あまり大きいものではないか、筋突起はやや大きく、下顎切痕は浅い。

4. 歯

歯は良く釘植しており、残存歯を歯式で示せば次のとおりである。



(2) 四肢骨

四肢骨の保存状態はあまり良いものではない。

1) 上肢骨

左側鎖骨、橈骨、尺骨および左側上腕骨の一部が残存していた。

1. 橈 骨

左側は完全であるが、右側は茎状突起を欠いている。長さは短かく、骨体の径もあまり大きいものではない。

2. 尺 骨

右側は肘頭を、左側は近位部を欠いている。諸径はあまり大きいものではないが、 骨間縁は中央よりやや近位部において著しく突出しており、その程度は左側の方が強い。

2) 下肢骨

左右の寛骨、左右の大腿骨、左側脛骨および左側膝蓋骨が残存していた。

1. 大腿骨

左側は遠位部を欠損しており、右側は遠位部のみが残存していた。諸径はやや小さく、粗線の発達も著しく悪い。

計測ができたのは左側のみで、推定中央位における矢状径は23 mm(左)、横径は26 mm(左)で、中央断面示数は88.46(左)となり、骨体は矢状径よりも横径の方が大きく、断面型は横広3の楕円形を呈している。中央周は78 mm(左)で骨体は細くまた上骨体断面示数は70.97(左)となり、骨体上部は扁平である。

2. 脛 骨

左側の近位部が残存していたが、観察したところでは諸径はやや小さい。

(3) 推定身長値

左橈骨最大長からPearsorおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のと

おり、158.21 cm、 156.33cmとなり、低身長である。

(4) 性别·年令

性別は、四肢骨の径はあまり大きいものではないが、眉上弓から眉間へかけての隆起かやや強いことや外後頭隆起の発達も比較的良好なことから、男性と考えられ、年令は縫合か内板では完全に癒合閉鎖しており、外板においても癒着が部分的に認められることから、熟年と推定される。

57年5号墳2号人骨(女性・熟年)

(1) 頭 蓋

後頭骨の右側の一部が欠損している以外は完全である。

1. 脳頭蓋

外後頭隆起の発達はあまり強いものではなく、また乳様突起も小さい。縫合は三主縫合のうち冠状縫合とラムダ縫合の一部は内板においては癒合しており、冠状縫合では外板の一部にも癒着が認められるか、矢状縫合とラムダ縫合の一部は内外両板とも開離している。

頭蓋最大長は176 mm、頭蓋最大幅は135 mm、バジオン・ブレグマ高は132 mmで、頭蓋長幅示数は76.70、頭蓋長高示数は75.00、頭蓋幅高示数は97.78となり、頭型はmeso-, hypsi-, metriokran (中・高・中頭) に属している。

また頭蓋水平周は504㎜、横弧長306㎜、正中矢状弧長は367㎜である。

2. 顔面頭蓋

顔面頭蓋は完全である。

眉上弓の隆起は弱く、鼻根部は扁平である。

類骨弓幅は129mm、中顔幅は96mm、顔高は110mm、上顔高は61mmで、高径、幅径ともに小さい。コルマンの顔示数および上顔示数はそれぞれ85.27、47.29で、 ウィルヒョーの顔示数および上顔示数はそれぞれ114.58、63.54となり、低顔の傾向が著しい。 眼窩幅は43mm(右)、42mm(左)、眼窩高は30mm(右)、31mm(左)で、眼窩示数は69.77(右)、73.81(左)となり、両側ともchamaekonch(低眼窩)に属している。

鼻幅は26 mm、鼻高は44 mmで、鼻示数は59.09となり、hyperchamaerrhin(過低鼻)に属している。 鼻根部の計測値は前眼窩間幅が 18 mm、鼻根横弧長は 20 mmで、鼻根彎曲示数は 90.00 となり、鼻根部は扁平である。前頭突起水平傾斜角は 71 度で小さいが、鼻根角は 138 度で大きく、また鼻根陥凹示数 も 16.67と小さく、鼻根部の陥凹は弱い。

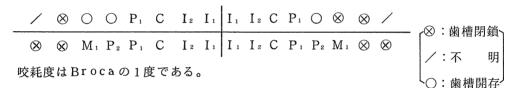
また全側面角は83度、鼻側面角は87度、歯槽側面角は72度で、歯槽性突顎が認められる。

3. 下顎骨

ほぼ完全で、諸径はやや小さいが、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。

4. 歯

歯は釘植しており、これを歯式で示すと次のとおりである。



(2) 四肢骨

1) 上肢骨

すべての骨が残存しており、保存状態も良好なものである。

1. 上腕骨

右側は大結節を欠く以外は完全で、左側は骨体が残存していた。長径は短かいが、 三角筋粗面の発達は良好である。

最大長は264mm(右)、骨体最小周は55mm(右、左)、中央周は61mm(右、左)で、骨体はやや細く、長厚示数は20.83(右)となる。中央最大径は21mm(右、左)、中央最小径は15mm(右)、14mm(左)で、骨体断面示数は71.43(右)、66.67(左)となり、両側とも扁平性が認められるが、その程度は左側の方が著しく強い。

2. 橈 骨

両側とも完全である。長径は短かく、骨体も細い。

3. 尺骨

右側は茎状突起のみを、左側は肘頭を欠失しているが、それ以外は完全に残存していた。長さは短かく、骨体は細い。しかし骨間縁は1号人骨と同様左右とも中央よりやや近位において突出しており、その傾向は右側の方が強い。

2) 下肢骨

下肢骨もすべての骨が残存していた。

1. 寛 骨

左右とも腸骨粗面の一部を欠いている以外は完全である。大坐骨切痕の角度および 恥骨下角は大きい。

2. 大腿骨

右側は外側顆を、右側は大腿骨頭の一部を欠いている以外は良く残存していた。長径は短かく、骨体も細いが、右側については粗線の発達は良好である。

最大長は385 mm (右)、中央周は78 mm (右)、75 mm (左)である。骨体中央矢 状径は25 mm (右)、24 mm (左)、横径は23 mm (右、左)で、中央断面示数は108. 70 (右)、104.35 (左)であるが、骨体の後方への発達は弱いもので、柱状形成と いうほどのものではない。また上骨体断面示数は75.86 (右)、75.00 (左)となり、 骨体上部は扁平である。

3. 脛 骨

右側は骨体近位の一部を、左側は内果を欠くほかは完全である。長さはやや長く、 骨体は細い。ヒラメ筋線の発達は著しく悪いが、後面には第四稜が認められる。骨体 中央断面型は両側ともヘリチカのIV型を呈している。

脛骨全長は317mm(右)、脛骨最大長は327mmで、最小周は65mm(右、左)、骨体周は73mm(右)、72mm(左)で、長厚示数は20.50(右)となり、あまり頑丈なものではないことがうかがえる。

中央最大径は27 mm(右)、26 mm(左)で、中央横径は20 mm(右、左)で、中央断面示数は74.07(右)、76.92(左)となり、骨体中央部には扁平性は認められない。

4. 腓骨

左側は完全で、右側は骨体遠位部を欠失している。長さはやや短かく、骨体は著し く扁平である。

(3) 推定身長値

大腿骨、脛骨、上腕骨および橈骨のそれぞれ最大長から、Pearsonおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のとおりである。右大腿骨最大長からの推定値は、147.73 cm (Pearson)、147.28 cm (藤井)となり、低身長である。

(4) 性別·年令

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が大きいことおよび眉上弓の隆起が弱いことから

女性と考えられ、年令は、縫合の一部が外板においても癒合していることや歯の咬耗度から、熟年と推定される。

57年5号墳3号人骨 (男性・熟年)

(1) 頭 蓋

ほぼ完全な頭蓋である。

1. 脳頭蓋

外後頭隆起の発達は弱く、乳様突起も小さいが、乳突上稜は良く発達している。縫合は三主縫合とも内板では癒合している。外板については冠状縫合は開離しているが、矢 状縫合およびラムダ縫合はラムダ部分で癒合している。

頭蓋最大長は 179 mm、頭蓋最大幅は 137 mm、バジオン・ブレグマ高は 137 mmで、頭蓋長幅示数は 76.54、頭蓋長幅示数は 76.54、頭蓋幅高示数は 100.00 となり、頭型としては、meso-, hypsi-, akrokran(中・高・尖頭) に属している。

頭蓋水平周は516 ㎜、横弧長は309 ㎜、正中矢状弧長は377 ㎜である。

2. 顔面頭蓋

眉上弓から眉間にかけて著しく隆起しているが、鼻骨の鼻根部での隆起は弱い。

類骨弓幅は140 mm、中顔幅は106 mmで、幅径は広く、顔高は118 mm、上顔高は64 mmで、高径は低い。従ってコルマンの顔示数および上顔示数はそれぞれ84.29、45.71 となり、ウィルヒョーの顔示数および上顔示数はそれぞれ111.32、60.38となり、顔面頭蓋は低、広顔の傾向が著しい。

眼窩幅は 45 mm(右)、43 mm(左)、眼窩高は 34 mm(右)、33 mm(左)で、眼窩 示数は 75.55 (右)、76.74 (左)となり、右側は chamaekonch (低眼窩)、左側は me sokonch (中眼窩) に属している。

鼻幅は 28 mm、鼻高は 48 mmで、鼻示数は 58.33 となり、 hyperchamaerrhin (過低鼻) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が19mm、鼻根横弧長は23mmで、鼻示数は82.61 となり、また前頭突起水平傾斜角は93度で、鼻骨の隆起は著しく弱い。しかし鼻骨は途中からやや隆起し、また眉間の隆起も強いので、鼻根角は138度、鼻根陥凹示数は17.86となり、鼻根部はやや陥凹している。

全側面角は81度、鼻側面角は86度であるが、歯槽側面角は68度となり、歯槽性突

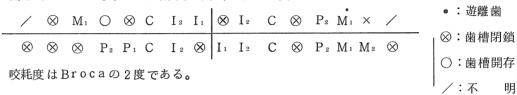
顎が認められる。

3. 下顎骨

右側の下顎角を欠いている以外は完全である。下顎枝は著しく幅広く、下顎切痕はやや深い。

4. 歯

歯も釘植しており、この残存歯を歯式で示すと次のとおりである。



(2) 四肢骨

1) 上肢骨

すべての骨が残存していた。

1. 上腕骨

右側は完全であるが、左側は両端の一部を欠いている。長径は短かく、三角筋粗面の発達も悪い。

最大長は292 mm (右)、骨体最小周は61 mm (右)で、長厚示数は20.89となり、 あまり頑丈なものではない。中央最大径は22 mm (右、左)、中央最小周は17 mm (右)、16 mm (左)で、骨体断面示数は77.27 (右)、72.73 (左)となり、左側に はやや強い扁平性が認められる。

2. 橈 骨

両側ともほぼ完全である。長さは短かく、骨体の諸径もあまり大きいものではない。

3. 尺 骨

右側は完全であるが、左側は茎状突起と肘頭を欠いている。長径は短かく、骨体も 大きいものではない。

下肢骨

下肢骨もすべての骨が残存していた。

1. 寛 骨

右側は腸骨粗面を、左側は腸骨稜と腸骨粗面とを欠いている以外は良く残存していた。大坐骨切痕の角度は小さく、恥骨下角も小さい。

2. 大腿骨

右側は遠位端を、左側は大転子と外側顆とを欠損していた。長さは短かく、粗線は著しく弱いものである。

最大長は398 mm (左)、骨体中央矢状径は25 mm (右、左)、横径は28 mm (右)、27 mm (左)で、骨体中央断面示数は89.29 (右)、92.59 (左)となり、骨体の内外両面は後方へ発達することなく、骨体の断面型は横広の楕円形を呈している。上骨体断面示数は69.70 (右)となり、骨体上面は著しく扁平である。

3. 脛 骨

右側は近端を、左側は両端を欠損している。長さは短かく、骨体は扁平である。 推定中央位での最大径は31 mm(右)、29 mm(左)、横径は20 mm(右、左)で、 中央断面示数は64.52(右)、68.97(左)となり、両側ともplatyknem(平脛) に属しており、骨体は著しく扁平である。骨体周は80 mm(右)、77 mm(左)、最小 周は70 mm(右、左)である。

4. 腓 骨

右側は近位端を欠損しており、左側は近位1/2が残存していた。骨体は扁平である。

(3) 推定身長値

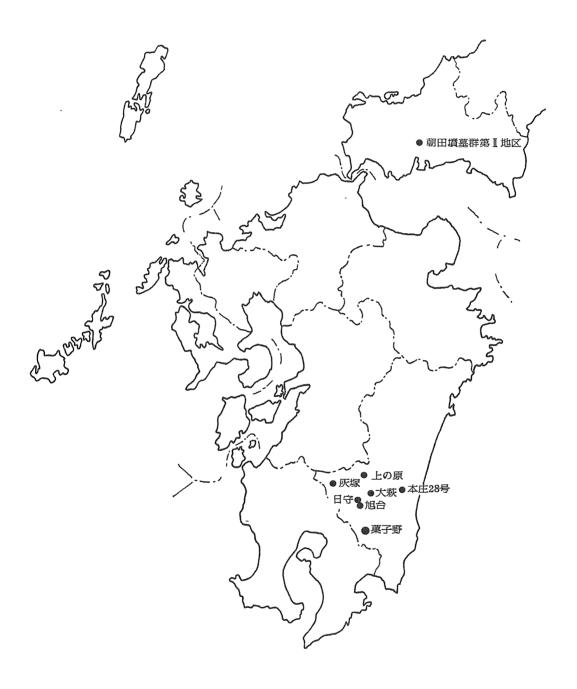
大腿骨、上腕骨および橈骨のそれぞれ最大長からPearsonおよび藤井の式を用いて推定身長値を算出すると表24のとおりである。

左大腿骨最大長から算出すると、156.13 cm (Pearson)、153.06 cm (藤井) となり、著しく低身長である。

(4) 性别·年令

性別は、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が小さいことや眉上弓の隆起が強いことから、男性と考えられ、年令は縫合が内板において癒合閉鎖していることから、熟年と推定される。

図 / 古墳時代人骨出土主要遺跡



考察

菓子野地下式横穴墓群から出土した古墳人骨のうち、形質人類学の研究資料になり得たのは成人骨4体だけであったが、本例には従来の地下式古墳人とは異なる所見が認められたので、男性3例については平均値を算出し、従来の地下式古墳人、本庄28号古墳人および山口市の朝田古墳人との比較を行なった。

(1) 頭 蓋

1. 脳頭蓋

男性については、表 3 に示すとおり、 3 例の平均値は、頭蓋最大値が 18 2.3 3 mm(3 例)、頭蓋最大幅は 13 6.3 3 mm(3 例)、バジオン・ブレグマ高は 13 5.6 7 mm(3 例)となり、頭蓋長幅示数は 7 4.7 9(3 例)、頭蓋長高示数は 7 4.4 3(3 例)、頭蓋幅高示数は 9 9.5 1(3 例)となり、頭型としては、dolicho-, ortho-, akrokran(長・中・尖頭)に属している。

頭蓋最大長は地下式古墳人および朝田古墳と大差ないが、最大幅が2群よりも小さく、 従って頭蓋長幅示数は2群よりも小さく、頭型は長頭に属している。現在までに報告されている地下式古墳人のうち日守地下式古墳人(55年出土資料)を除く、大萩、上の原、 および旭台地下式古墳人はいずれも短頭型を呈しており、長頭の確実な例はなく、本例 が初めてである。またバジオン・プレグマ高は朝田古墳人よりも大きく、従来の地下式 古墳人と同様やや高い。

表 3 脳頭蓋計測値 (男性)

(mm)

		菓	子野地下式 古墳人		地下古墳	式 人		田横穴墓 古墳人
		n	M	n	M	maxmin	n	M
1.	頭蓋最大長	3	182.33	6	18350	188 - 178	4	183.00
8.	頭蓋最大幅	3	1 3 6.3 3	5	144.00	150 - 131	2	143.00
17.	バジオン・ブレグマ高	3	135.67	9	13611	146 - 127	2	130.00
8/1	頭蓋長幅示数	3	7 4.7 9	1	8056		2	76.71
17/1	頭蓋長高示数	3	74.43	5	73.82	78.9 2 - 68.82	2	73.93
17/8	頭蓋幅高示数	3	9 9.5 1	3	9342	9655- 8993	1	9225
23.	頭蓋水平周	3	5 1 5.00	1	523		1	525
24.	横 弧 長	2	303.00	3	31500	321 - 308	1	306
25.	正中矢状弧長	2	375.00	3	37233	380 - 362	2	359.00

女性についても表4に示すとおり、頭蓋最大長は従来の地下式古墳人と大差ないが、 最大幅は小さく、従って本例の頭型は中頭型に属し、従来の地下式古墳人よりも長頭へ 傾いている。バジオン・ブレグマ高は従来の地下式古墳人よりも大きい。

以上のように、本例は男女とも従来の地下式古墳人よりも長頭へ傾いており、このことは本例の最大の特徴である。

表 4 脳頭蓋計測値((女性)
-------------	------

(mm)

			野地下式 5墳人		地 古	下 式 墳 人		横穴墓 墳人
		n	M	n	M	maxmin.	n	M
1.	頭蓋最大長	1	176	5	176.80	184 -171	6	172.50
8.	頭蓋最大幅	1	135	3	140.00	140 - 140	3	134.67
17.	バジオン・ブレグマ高	1	132	5	130.80	139 - 127	5	131.20
8/1	頭蓋長幅示数	1	76.70		Petitore		2	78.04
17/1	頭蓋長高示数	1	75.00	3	7 3.5 7	7427 - 72.57	4	75.57
17/8	頭蓋幅高示数	1	97.78		*Chrosin		3	9727
23.	頭蓋水平周	1	504		****		1	508
24.	横 弧 長	1	306	3	301.67	304 -300	3	3 01.0 0
25.	正中矢状弧長	1	367	3	357.00	360 - 352	2	357.00

2. 頗面頭蓋

男性 3 例の平均値は表 5 に示すとおり、頬骨弓幅は 140 mm (1 例)、中顔幅は 10 2. 67 mm (3 例)、顔高は 115.50 mm (2 例)、上顔高は 6 4 mm (2 例)で、顔面の幅径は大きく、これは従来の地下式古墳人および朝田古墳人と大差ない。また顔面の高径は著しく低く、その平均値は朝田古墳人よりも小さく、従来の地下式古墳人と大差ないものである。従って顔示数および上顔示数はともに朝田古墳人よりも小さく、地下式古墳人のそれに一致している。

従来の宮崎県下の地下式古墳人の顔面頭蓋は朝田古墳人よりも低頭であるが、国富町の本庄28号墳地下式古墳人は明らかに高顔傾向を示しており、従来の地下式古墳人とは異なる形質が認められた。本例はこの本庄28号墳地下式古墳人とは異なり、従来の地下式古墳人と同様、低・広顔の傾向が著しい古墳人である。

また眼窩および鼻部の高径も著しく低く、低眼窩、低鼻の傾向が認められる。

		東	子野地下式 古墳人		地 古	下 式 墳 人		庄28号 5墳人		 日横穴墓 5墳人
		n	M	n	M	maxmin.	n	M	n	M
40.	顔 長	2	96.00	8	103.13	113 - 95		-	3	93.33
45.	頰骨弓幅	1	140	4	13900	146 - 130			1	(140)
46.	中顔幅	3	102.67	9	101.11	108 - 98			3	104.67
47.	顔 高	2	11550	9	11411	121 - 107		-	3	1 18.00
48.	上顔高	2	64.00	13	64.69	67 - 61	1	72	5	6760
47/45	顔 示 数(K)	1	84.29	2	82.16	82,31- 82.01			1	(85.00)
48/45	上顔示数(K)	1	45.71	3	47.03	4846 - 4604		com	1	(4857)
47/46	顔 示 数(V)	2	11332	6	113.50	119.19- 107.00		_	2	11586
48/46	上顔示数(V)	2	62.85	7	6359	66.67 - 59.88		NGES	3	66.59
51.	眼 窩 幅宏	3	42.67	11	43.18	46 - 41	1	44	3	45.67
52.	眼 窩 高左	3	33.00	16	32.75	35 - 30	1	35	3	36.67
52/51	眼窩示数佐	3	7735	11	76.70	82.93 - 71.11	1	79.55	3	8041
54.	鼻 幅	3	27.00	18	27.78	31 - 21	1	25	4	27.25
55.	鼻 高	3	4833	16	5000	55 - 45	1	53	5	5240
54/55	鼻示数	3	5584	15	5614	6622 - 48.08	1	47.17	4	51.44
74.	歯槽側面角	2	71.50	11	73.55	86 - 64	1	64	5	69.40

次に鼻根部について検討してみると、表6のとおり、鼻根部はあまり広いものではなく、鼻骨の隆起もやや強く、眉間の隆起も強いので、鼻根部は本庄28号墳地下式古墳人や朝田古墳人のようには広くて扁平なものではなく、むしろやや陥凹が認められるものである。しかし鼻骨の隆起は縄文人のように鼻根部から隆起するものではなく、途中からおきているので、鼻骨は鼻根部では扁平である。

歯槽側面角は71.50度(2例)で、歯槽性突顎傾向が認められるが、その程度は朝田 古墳人程強いものではない。 一方女性では表7に示すとおりで、顔面の幅径は小さく、従来の地下式古墳人よりも小さい。高径も低く、地下式古墳人と大差ない。顔示数は2群よりも大きいが、上顔示数は2群と大差なく、女性の顔面頭蓋も男性と同じように低顔の傾向が著しい。

眼窩および鼻部についてもその高径は著しく低く、低眼窩、低鼻の傾向が強い。

	**	(1.01)	
表 7	顔 面 頭 蓋 計 測 値	(女性)	

(mm、度)

			野地下式 5墳人		地 下 古 墳	式 人		田横穴墓 古墳人
		n	M	n	M	maxmin.	n	M
40.	顔 長	1	100	4	9 8.2 5	103 - 94	4	1 0 0.0 0
45.	頰骨弓幅	1	129	1	134			-
46.	中顔幅	1	9 6	4	100.50	109 - 91	3	1 0 0.0 0
47.	顔 高	1	110	7	1 0 9.0 0	112 - 106	5	106.40
48.	上顔高	1	6 1	6	6 1.6 7	64 - 59	7	6 0.5 7
47/45	顔 示 数(K)	1	8 5.2 7	1	8 1.3 4			Mayor
48/45	上顔示数 (K)	1	47.29	1	47.76			
47/46	顔 示 数(V)	1	1 1 4.5 8	3	1 0 4.9 6	1 0 9.0 0-1 6 0.0 0	3	1 0 5.9 1
48/46	上顔示数 (V)	1	63.54	3	6 0.5 0	62.00 - 58.72	3	6 2.5 0
51.	眼窩幅齿	1	42	7	41.57	43 - 38	6	4 2.0 0 佑
52.	眼窩高妇	1	3 1	5	3 2.0 0	34 - 31	7	3 2.57 佑
52/51	眼窩示数 佐	1	7 3.8 1	5	77.91	85.00-72.09	6	77.03 佑
54.	鼻幅	1	26	9	26.22	29 - 24	7	2 6.4 3
55.	鼻 高	1	4 4	8	46.63	53 44	7	4 6.8 6
54/55	鼻 示 数	1	5 9.0 9	6	5 5.7 7	6 0.0 0 - 5 0.9 4	7	56.32
74.	歯槽側面角	1	7 2	6	6 5.0 0	75 - 58	6	6 2.5 0

また鼻根部については表8に示すとおり、その幅は狭く、扁平ではあるが、鼻骨は途中から隆起しているので、鼻根角は小さく、鼻根陥凹示数は大きい。

歯槽側面角はやや小さく歯槽性突顎傾向が認められるが、その程度は朝田古墳人程強いものではない。

表 8	鼻	鼻根部計測値		女性)	((mm、度)	
	菓	菓子野地下式 古墳人		地 下 式		田横穴墓 古墳人	
	n	M	n	M	n	M	
前眼窩間幅	1	18	9	1 9.7 8	7	1 7.2 9	
鼻根横弧長	1	20	8	2 4.1 3	7	2 0.5 7	
鼻根彎曲示数	1	9 0.0 0	8	8 3.7 6	7	8 5.3 5	
鼻骨最小幅	1	7	8	10.13	7	8.1 4	
前頭突起上幅 佑	1	1 0	8	1 0.0 0	7	9.5 7	
佐	1	10	9	1 0.3 3	7	9.1 4	
前頭突起水平傾斜角	1	7 1	5	7 6.8 0	6	1 0 1.5 0	
グラベラ・ナジオン 投影距離	1	4	7	1.86	6	1.0 0	
鼻 根 角	1	1 38	5	1 4 7.6 0	6	153.83	
鼻根陥凹示数	1	1 6.6 7	5	1 2.5 4	6	1 1.4 2	

(2) 四肢骨および推定身長値

地下式横穴から出土する人骨では、頭蓋の保存状態の割りには一般的に四肢骨の保存状態が著しく悪いが、本例は比較的保存状態が良かった。男女とも四肢骨は上・下肢共通して、長径が著しく短かく、骨体も細いものであり、 筋付着部の発達もあまり良いものではなかった。しかし扁平性や大腿骨骨体の後方への発達程度には各個体間に大きな差が認められ、変異が大きいようで、これも本古墳人の特徴の1つである。

表9 四肢骨比

	男	性	女 性
	55-1-1	57-5-3	57-5-2
	右	右 左	右
橈 骨/上腕骨	/Zimps	7 6.0 3	8 1.0 6
橈 骨/大腿骨	5 4.8 3	5 5.5 3	5 5.5 8
上腕骨/大腿骨	-	Manar Annya.	6 8.5 7
脛 骨/大腿骨			8 4.9 4

また各四肢骨の最大長の比は表 9 に示すとおりで、女性は上腕骨の長さの割りには前腕の骨が長いようである。

推定身長値については、男性では右大腿骨最大長から算出すれば表10のとおり、153.31 cm (Pearson, 1例) で低く、また左大腿骨から算出しても156.13 cm (Pearson, 1例) となり、従来地下式古墳人および朝田古墳人よりも低い。女性では表11に示すとおり、右大腿骨から算出すると 147.73 cm (Pearson, 1例) で、従来の地下式古墳人よりも大きく、朝田古墳人の平均値と一致し、低身長である。

表10	推定身長値	(男性)		((cm)	
		菓子野地下式 古墳人 ———————————————————————————————————		地 下 式 古 墳 人		田横穴墓 古墳人
	55-1-1	57-5-3	n	M	n	M
Pearsonの式	153.31佑	156.13 佐	1	1 6 0.2 7	2	1 5 8.3 9
藤井の式	149.50佑	153.06 佐	1	1 5 8.6 4	2	156.18

表11	推定身長値(女性)	(cm)	
	菓子野地下式	地下式	朝田横穴墓	
	古墳人	古墳人	、 古墳人	
	57-5-2	n M	n M	
Pearsonの式	147.73(左)	1 145.78	佐 2 147.92 佐	
藤井の式	147.28(左)	1 1 4 5.22	妇 2 147.78 妇	

総 括

宮崎県都城市菓子野町にある菓子野地下式横穴(古墳)から、昭和55年に1体、昭和57年に12体、合計13体の人骨が出土したが、そのうちの8体は既に破壊されており、形質人類学の研究資料として使えるものではなかった。残りの5体のうち1体は小児(I期)骨で、あとの4体は保存状態がきわめて良好な古墳時代(後期)人骨であった。その成人骨について計測ならびに人類学的観察を行なった結果は次のように要約することができる。

- 1. 保存良好な4体の成人骨のうち3体が男性骨で、残りの1体は女性骨であった。
- 2. 男性の頭蓋最大長は182.33 mm (3例)、頭蓋最大幅は136.33 mm (3例)、バジオン
- ・ブレグマ高は135.67㎜(3例)で、頭型は長・中・尖頭に属している。
- 3. 女性の頭蓋最大長は176 mm (1例)、頭蓋最大幅は135 mm (1例)、バジオン・ブレ

グマ高は132 mmで、頭蓋長幅示数は76.70 (1例)、頭蓋長高示数は75.00 (1例)、 頭蓋幅高示数は97.78 となり、頭型は中・高・中頭に属している。

- 4. 男性の顔面頭蓋の幅径は、頬骨弓幅が140 mm(1例)、中顔幅は102.67 mm(3例)、高径は、顔高が115.50 mm(2例)、上顔高は64.00 mm(2例)で、顔示数は84.29(K。1例)、113.32(V. 2例)、上顔示数は45.71(K. 1例)、62.85(V. 2例)で、低・広顔の傾向が著しい。
- 5. 女性の顔面頭蓋の幅径は、頬骨弓幅が129 mm (1例)、中顔幅は96 mm (1例)、高径は顔高が110 mm (1例)、上顔高は61 mm (1例)で、顔示数は85.27 (K. 1例)、114.58 (V. 1例)、上顔示数は47.29 (K. 1例)、63.54 (V. 1例)となり、低顔である。
- 6. 眼窩および鼻部の高径は、男女とも低い。
- 7. 男女とも歯槽性突顎の傾向か認められる。
- 8. 四肢骨の長径は男女とも短かく、一般的に骨体は細く、筋付着部の発達は悪いものである。しかし上腕骨および脛骨の扁平性は著しく強い例もあり、また大腿骨の骨体はやや後 方へ発達しているのとそうでないものとが混在しており、多少変異が大きい。
- 9. 右大腿骨最大長からの推定身長値は、男性が 153.31 cm (Pearson、1例)、女性は 147.73 cm (Pearson、1例) で、男女とも低身長である。
- 10. 以上の様に、本例の顔面頭蓋には低・広顔の傾向が認められ、顔面頭蓋については従来報告されている地下式古墳人の特徴と一致するものであったが、頭型は従来の地下式古墳人とは異なり、明らかに長頭へ傾いたものであり、また低身長であった。

地下式古墳人骨の出土例の増加に伴ない、宮崎県下においても多少の地埋的変異の存在 を示唆する資料も認められるようになってきた。今後も地下式古墳人の全体像を解明する ために資料の収集と研究を続けていきたい。

<擱筆するにあたり、本研究の機会を与えていただいた都城市教育委員会、宮崎県教育庁 文化課ならびに人骨研究についてご指導いただいた内藤芳篤教授に感謝いたします。>

表12 脳頭蓋計測値

		男	性				女性
	-	55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
					n	M	4117494
1.	頭蓋最大長	184	184	179	3	182.33	176
8.	頭蓋最大幅	135	1 3 7	137	3	1 3 6.3 3	1 3 5
17.	バジオン・ブレグマ高	1 3 3	137	1 3 7	3	1 3 5.6 7	1 3 2
8/1	頭蓋長幅示数	7 3.3 7	$7\ 4.4\ 6$	7 6.5 4	3	7 4.7 9	76.70
17/1	頭蓋長高示数	7 2.2 8	7 4.4 6	7 6.5 4	3	7 4.4 3	75.00
17/8	頭蓋幅高示数	98.52	1 0 0.0 0	1 0 0.0 0	3	99.51	97.78
9.	最小前頭幅	89	9 1	96	3	9 2.0 0	96
10.	最大前頭幅	114	114	115	3	1 1 4.3 3	116
5.	頭蓋 底長	103	100	98	3	1 0 0.3 3	98
11.	両 耳 幅	123	_	126	2	1 2 4.5 0	119
12.	最大後頭幅	111	(are	118	2	1 1 4.5 0	Singar
13.	乳 突 幅	_	Name	250		*******	Plantis
7.	大後頭孔長	32	_	3 4	2	3 3.0 0	3 2
1 6.	大後頭孔幅	28	America	28	2	2 8.0 0	28
16/7	大後頭孔示数	8 7.5 0	****	8 2.3 5	2	8 4.9 3	87.50
23.	頭蓋水平周	512	5 1 7	5 1 6	3	5 1 5.0 0	5 0 4
24.	横弧長	297	tomo	309	2	3 0 3.0 0	306
25.	正中矢状弧長	373	****	3 7 7	2	3 7 5.0 0	3 6 7
	Vertex Rad	120	Nome	124	2	1 2 2.0 0	122
	Nasion Rad	92	*****	92	2	9 2.0 0	93
	Subsp. Rad	9 1	1990	90	2	9 0.5 0	9 2
	Prosth _e Rad		excus	98	1	98	9 9

表13 顔面頭蓋計測值

		男	性	Ė			女 性
		5 5-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
					n	M	
40.	顔 長		9 9	93	2	9 6.0 0	100
41.	側 顔 長	6 9	6 6	7 1	3	6 8.6 7	7 0
42.	下 顔 長	-	102	103	2	1 0 2.5 0	108
43.	上顔幅	108	105	109	3	107.33	104
45.	頰 骨 弓幅	Crise		140	1	1 4 0	129
46.	中顔幅	104	98	106	3	1 0 2.6 7	96
47.	顔 高		113	118	2	1 1 5.5 0	110
48.	上顔高	lange	6 4	6 4	2	6 4.0 0	6 1
47/45	顔 示 数(K)	Comm	-	8 4.2 9	1	8 4.2 9	8 5.2 7
48/45	上顔示数(K)	Silve	790	4 5.7 1	1	4 5.7 1	4 7.2 9
47/46	顔示数V)	· Claire	1 1 5.3 1	1 1 1.3 2	2	1 1 3.3 2	1 1 4.5 8
48/46	上顔示数(V)	NON	6 5.3 1	60.38	2	62.85	6 3.5 4
50.	前眼窩間幅	19	18	19	3	1 8.6 7	18
44.	両眼 窩幅	9 9	9 7	103	3	9 9.6 7	96
50/44	眼窩間示数	1 9.1 9	1 8.5 6	1 8.4 5	3	18.73	1 8.7
51.	眼窩輻佑	4 4	4 2	45	3	4 3.6 7	4 3
	伍	43	42	43	3	4 2.6 7	4 2
52.	眼窩高佑	3 2	3 3	3 4	3	3 3.0 0	3 0
	伍	33	33	33	3	3 3.0 0	3 1
52/51	眼窩示数右	7 2.7 3	7 8.5 7	7 5.5 5	3	7 5.6 2	6 9.7
	伍	7 6.7 4	7 8.5 7	7 6.7 4	3	77.35	738
54.	鼻 幅	25	28	2.8	3	2 7.0 0	26
55.	鼻 高	4 7	5 0	48	3	48.33	44
54/55	鼻 示数	5 3.1 9	5 6.0 0	5 8.3 3	3	5 5.8 4	5 9.0 9
57.	鼻骨最小幅	1 2	7	8	3	9.0 0	7
57 (1)	鼻骨最大幅	19	17	18	3	1 8.0 0	17
60.	上顎歯槽長		-	5 3	1	5 3	5 3
61.	上顎歯槽幅	Alexa		6 1	1	6 1	58
61/60	上顎歯槽示数	Natio	Classic	1 1 5.0 9	1	1 1 5.0 9	1 0 9.4
72.	全側 面角	Annas	83	8 1	2	8 2.0 0	83
73.	鼻側 面角	86	8 5	8 6	3	8 5.6 7	8 7
74.	歯槽側面角		75	68	2	7 1.5 0	72

(㎜、度)

表14 鼻根部計測值

	男	档	=			女 性
	55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
				n	M	
前眼窩間幅	19	18	19	3	18.67	18
鼻根横弧長	23	22	23	3	2 2.6 7	20
鼻根彎曲示数	8 2.6 1	8 1.8 2	8 2.6 1	3	8 2.3 5	9 0.0 0
鼻骨最小幅	12	7	8	3	9.00	7
前頭突起上幅 佑	7	10	11	3	9.3 3	10
齿	8	8	1 0	3	8.67	10
前頭突起水平傾斜角	7 4	Com	9 3	2	8 3.5 0	7 1
グラベラ・ナジオン投影距離	2		4	2	3.00	4
鼻 根 角	128	136	1 3 8	3	1 3 4.0 0	138
鼻根陥凹示数	17.39	2 0.6 9	17,86	3	1 8.6 5	1 6.6 7

	表15 下 顎 骨	<u>計測</u> 男	值	 性			女性
	-			57-5-3	平		57-5-2
		55-1-1	37 3 1	37 3 0	n '	M	0. 0.
35.	下顎関節突起幅	118		1 2 9	2	1 2 3.5 0	119
65(1).	下顎筋突起 幅	89	-	101	2	9 5.0 0	98
66.	下顎角幅			-		-	_
68.	下 顎 長	-	Mercesa	Name of the last o		_	Total
69.	オトガイ高	_	3 1	29	2	3 0.0 0	3 0
69(1).	下 顎 体 高佑	3 1	_	28	2	2 9.5 0	3 1
	妇	reside		27	1	27	3 1
69(2).	下 顎 体 高佑	****	_	***		_	28
	齿	dates	28	27	2	2 7.5 0	28
69(3).	下 顎 体 厚佑	13		1 1	2	1 2.0 0	10
	齿	13	13	12	3	1 2.6 7	11
70.	枝 高佑	****	-	_		_	5 5
	伍	5 9	Trans.	6 5	2	6 2.0 0	_
70(3).	下顎 切痕 高佑	12	_	1 5	2	1 3.5 0	12
	冶	10	12	16	3	1 2.6 7	11
71.	枝 幅佝	-		-		_	33
	佐	37	Ammo	38	2	3 7.5 0	3 4
71a.	最小 枝幅的						33
	齿	3 7		38	2	3 7.5 0	3 4
71(1).	下 顎 切 痕 幅句	44	Name .	38	2	41.00	38
	妇	46	36	37	3	3 9.6 7	38
79.	下 顎 枝 角佑	_		_		No.	130
	塩	112	-	109	2	1 1 0.5 0	
68/65	幅長示数	_				_	None
69(2)/69	下 顎 高 示 数佑	NEON	Name.			-	9 3.3
	占	_	90.32	9 3.1 0	2	9 1.7 1	9 3.3
71/70	下 顎 枝 示 数句			-		-	6 0.0
	齿	6 2.7 1	_	5 8.4 6	2	6 0.5 9	_
69(3)/69(1)	下顎体高厚示数佑	41.94	No.	3 9.2 9	2	4 0.6 2	3 2.2
	佐	******	***	4 4.4 4	1	4 4.4 4	3 5.4
66/65	下顎幅示数	-		_		-	None
70(3), 11(1)	下顎切痕示数的	2 7.2 7	-	3 9.4 7	2	3 3.3 7	3 1.5
	伍	2 1.7 4	3 3.3 3	4 3.2 4	3	3 2.7 7	2 8.9

	表 16 鎖	骨計測	値			(mm)	
		男	4	±			女性
		55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
					n	M	
1.	鎖骨最大長的	rous-		Atomia			
	伍	131	Trea	-	1	131	******
2a.	骨体 彎曲高伤	enna.		29	1	29	2 6
	海	3 2		29	1	3 0.5 0	25
2(1).	肩峰端彎曲高冶	-	_	_		Notice	All and a second
	佐	encome.		No.		_	_
4.	中央垂直径均	9	****	10	2	9.5 0	8
	齿	10	10	10	3	1 0.0 0	9
5.	中央矢状径均	11		12	2	1 1.5 0	10
	始	12	10	12	3	1 1.3 3	10
6.	中 央 周佑	35	Crysta	3 9	2	3 7.0 0	3 1
	佐	3 7	33	37	3	3 5.6 7	33
6/1	長 厚 示 数均	-	_	_		Company Company	-
	佐	28.24	toma.	-	1	2 8.2 4	*****
2a/1	彎曲 示数的	Name.	Messa	Parent		****	*****
	齿	2 4.4 3	****	No.	1	2 4.4 3	4000
4/5	鎖骨断面示 数佑	81.82	Omas.	8 3.3 3	2	8 2.5 8	8 0.0 0
	左	8 3.3 3	9 0.0 0	8 3.3 3	3	8 5.5 5	9 0.0 0

	表 17 上 腕	骨計測	値		(mm)	
		男	性			女 性
		55-1-1	57-5-3	平	均	57-5-2
				n	M	
1.	上腕骨最大 長佑		292	1	292	264
	伍	_				-
2.	上 腕 骨 全 長佑	Militaria.	288	1	288	259
	佑	Accept	·			Million
5.	中央最大径的	2 1	22	2	21.50	2 1
	炉	21	22	2	21.50	2 1
6.	中央最小径的	16	1 7	2	1 6.5 0	15
	伍	16	1 6	2	1 6.0 0	14
7.	骨体最小周的	5 6	6 1	2	5 8.5 0	5 5
	伍	58	- Charmin	1	58	5 5
7 (a)	中 央 周佑	6 1	6 6	2	6 3.5 0	6 1
	伍	6 3		1	63	6 1
6/5	骨体断面示数的	7 6.1 9	77.27	2	76.73	7 1.4 3
	伍	7 6.1 9	7 2.7 3	2	7 4.4 6	6 6.6 7
7/1	長 厚 示 数宏		2 0.8 9	1	2 0.8 9	2 0.8 3
	齿	Money	_		******	Notes

	24 10	<i>1</i> 56 F	3 HI D(3	1155				
			男		性			女 性
			55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
						n	M	
1.	最 大	長佑)	210		222	2	2 1 6.0 0	2 1 4
		妇		2 2 1	221	2	2 2 1.0 0	2 1 5
1b.	平 行	長佑	208	-	220	2	2 1 4.0 0	Fores
		妇	_	217	_	1	217	212
2.	機能	長佑	194	204	208	3	202.00	201
		妇	SHA	205	Corps	1	205	202
3.	最 小	周佑	42	4 0	40	3	4 0.6 7	3 6
		左	41	39	3 9	3	3 9.6 7	3 5
4.	骨体	黄径的	17	1 7	15	3	1 6.3 3	1 4
		左	15	16	14	3	1 5.0 0	1 4
4a.	骨体中央	横 径佑	16	17	15	3	16.00	14
		妇	15	16	1 4	3	15.00	14
5.	骨体矢	状 径佑	1 1	12	12	3	1 1.6 7	10
		俎	12	11	12	3	1 1.6 7	10
5a.	骨体中央统	矢状径佑	1 1	11	12	3	1 1.3 3	9
		左	12	1 1	12	3	1 1.6 7	10
5 (5)	骨体中	央 周佑	4 4	4 5	42	3	43.67	38
		佐	4 3	43	4 2	3	4 2.6 7	3 9
3/2	長厚	示数伤	2 1.6 5	Parisa	1 9.2 3	2	20.44	1 7.9 1
		佐	****	1 9.0 2	****	1	1 9.2 3	1 7.3 3
5/4	骨体断面	〒示数(石)	6 4.7 1	7 0.5 9	8 0.0 0	3	7 1.7 7	7 1.4 3
		佐	8 0.0 0	6 8.7 5	8 5.7 1	3	7 8.1 5	7 1.4 3
5a/4a	中央断面	面示数(石)	6 8.7 5	6 4.7 1	8 0.0 0	3	7 1.1 5	6 4.2 9
		佐	8 0.0 0	6 8.7 5	8 5.7 1	3	7 8.1 5	7 1.4 3

				男		性			女 性
				55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
							n	M	
1.	最	大	長佑		_	236	1	236	
			伍	General	_	-		_	_
2.	機	能	長佑	Persona	209	208	2	2 0 8.5 0	203
			妇	198	209	209	3	205.33	204
3.	最	小	周佑	3 6	3 3	3 2	3	3 3.6 7	3 2
			佐	3 5	3 3	3 1	3	3 3.0 0	3 1
11.	尺帽	骨 矢 状	径佑	***	12	1 2	2	1 2.0 0	12
			伍	13	12	12	3	1 2.3 3	12
12.	尺	骨 横	径切		17	15	2	1 6.0 0	15
			妇	1 7	1 5	16	3	1 6.0 0	1 4
S	中,	央 最 小	径伯	Compa	1 1	12	2	1 1.5 0	11
			妇	1 2	1 1	12	3	1 1.6 7	11
L	中,	央 最 大	径均	Mico	1 7	16	2	1 6.5 0	16
			伍	16	1 6	16	3	1 6.0 0	14
С	中	央	周佑	-	48	4 5	2	4 6.5 0	4 5
			伍	4 7	4 6	4 6	3	46.33	42
3/2	長	厚 示	数佑	_	1 5.7 9	1 5.3 8	2	1 5.5 9	1 5.7 6
			伍	1 7.6 8	1 5.7 9	1 4.8 3	3	16.10	1 5.2 0
11/12	骨体	断面示	数句	-	7 0.5 9	8 0.0 0	2	7 5.3 0	8 0.0 0
			伍	7 6.4 7	8 0.0 0	7 5.0 0	3	7 7.1 6	8 5.7 1
S/L	中央	き断面示	数冶	_	6 4.7 1	7 5.0 0	2	6 9.8 6	6 8.7 5
			伍	7 5.0 0	6 8.7 5	7 5.0 0	3	7 2.9 2	7 8.5 7

			男		性			女性
			55-1-1	57-5-1	57-5-3	平	均	57-5-2
						n	M	
1.	最 大 長	佑)	383		None of the last o	1	383	385
		(左)			398	1	398	-
2.	自然位全長	佑		****	-			
		伍	****	Annua	*****		Name .	_
6.	骨体中央矢状径	佑	29	African	25	2	27.00	25
		伍	28	23	25	3	25.33	24
7.	骨体中央横径	佑	24	-	28	2	26.00	23
		伍	24	26	27	3	25.67	23
8.	骨体中央周	佑	86	-	84	2	8 5.0 0	78
		伍	84	78	81	3	81.00	75
9.	骨体上横径	佑	26	_	33	2	29,50	29
		左	27	31	-	2	29.00	28
10.	骨体上矢状 径	(右)	24	-	23	2	2350	22
		佐)	24	22	_	2	23.00	21
8/2	長厚示数	佑)	_	_			_	_
		伍	_	_			-	****
6/7	骨体中央断面示数	牧(右)	120.83		8 9.2 9	2	10 5.06	108.70
		伍	1 1 6.6 7	88.46	9 2.5 9	3	9 9 2 4	104.35
10/9	上骨体断面示数	佑	9231	_	6 9.7 0	2	81.01	7 5.8 6
		伍	8889	7 0.9 7	_	2	7 9.9 3	75.00

	表 21	脛	骨 計	測 値		,	(mm)	
			,	男	性			女 性
				55-1-1	57-5-3	平		57-5-2
						n	M	
1.	脛骨全	長	佑				-	317
			伍	ropes	_		*****	_
1a.	脛骨最大	長	佑	-	_		Erystan	327
			伍	enton	tom.			
1b.	脛骨	長	佑	-	Killenne		Name .	321
			伍	_	****		SCHOOL STATE OF THE SCHOOL	Gen-
2.	距	長	泊	298	commis	1	298	305
			伍	_	Acres		-	have
8.	中央最大	径	佑	30	3 1	2	3 0.5 0	27
			佐	30	29	2	29.50	26
8a.	栄養孔位最大	径	佑	33	35	2	34.00	30
			伍	32	35	2	3 3.5 0	31
9.	中 央 横	径	佑	22	20	2	2100	20
			伍	22	20	2	21.00	20
9a。	栄養孔位横	径	佑	23	19	2	2100	20
			伍	23	21	2	2 2.0 0	21
1 0.	骨 体	周	佑)	81	80	2	8 0.5 0	73
			佐	80	77	2	78.50	72
10a.	栄養孔位	周	佑	91	87	2	8 9.0 0	78
			佐	88	89	2	8 8.5 0	82
10b.	最 小	周	佑	72	70	2	7 1.0 0	65
			妇	72	70	2	7 1.0 0	65
9/8	中央断面示	长数	佑	73.33	64.52	2	68.93	74.07
			妇	73.33	68.97	2	7 1.1 5	7 6.9 2
9a/8a	栄養孔位断	面示数	伯	69.70	54.29	2	62.00	6 6.6 7
			伍	71.88	6 0.0 0	2	6 5.9 4	6 7.7 4
10b/1	長 厚 示	数	佑	MEXAM	Massion		_	2 0.5 0
			炉		_		_	·

表	22	肽	菨	₽	⊒- -	測	右
иx	44	nsk.	TITE	=	n i	1H1	ш

/	`
(mm	1
\IIIIII	.,

		~	7373						
				男		性			女 性
				55-1-1	57-5-	57-5-3	平	均	57-5-2
							n	M	
1.	最	大	高佑)	Nation	_	4 2	1	42	
			伍	*****	3 6		1	3 6	-
2.	最	大	幅佑	filma		4 1	1	4 1	_
			伍	42	3 5	-	2	3 8.5 0	
3.	最	大	厚佑)	-		20	1	20	forma
			伍	19	18	Avenue	2	1 8.5 0	19
4.	関	節面	高佑	rhous	-	32	1	3 2	congra
			佐	3 3	_	FORMA	1	3 3	*****
5.	内	切 面	幅佑	MANUS	Challane.	22	1	22	***************************************
			妇	2 1	18	Prince	2	1 9.5 0	enina.
6.	外	切 面	幅佑)	-	timos	2 4	1	2 4	CED
			伍	2 4	-	-	1	2 4	***
1/2	膝畫	蓋骨高幅	示数(右)		-	102.44	1	102.44	tenco
			妇	_	1 0 2.8 6	Person	1	102.86	Massa

主 92	HJE:	,ш,	≣-}-	vHti	店

(mm)

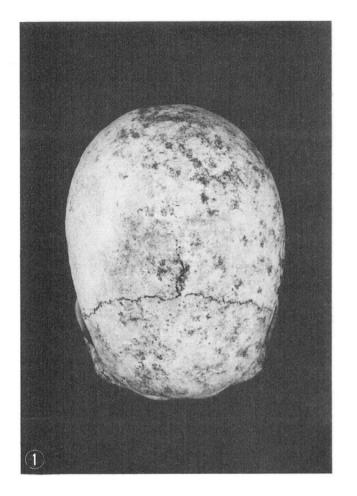
			性			女 性
		55-1-1	57-5-3	平	均	57-5-2
				n	M	
1.	最 大 長佑	_	Million			Nine.
	齿	_	_			310
2.	中央最大径向		17	1	1 7	17
	佐	_	-			1 7
3.	中央最小径的	_	1 1	1	11	9
	齿	-	-		Motors	9
4.	中 央 周佑	_	49	1	4 9	46
	妇	_	-			4 6
4a.	最 小 周佑	-			-	3 4
3/2	妇	29	_	1	29	35
3/2	中央断面示数的	_	64.71	1	6 4.7 1	5 2.9 4
	左	_	40km		No.	5 2.9 4
4a/1	長 厚 示 数句		NOMO		-	~~~
	妇	-	S. Commande		-	1 1.2 9

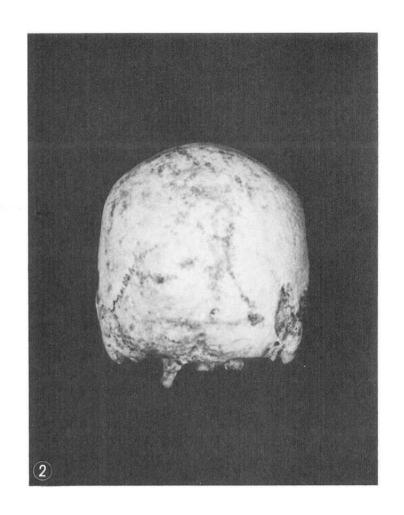
	X 21 1E	之 3 以 區		COILE		
-		51-1-1	57-5-1	57-5-3	57-5-2	
		男性	男性	男 性	女 性	
大腿骨 佑	Pearson	153.31		-	1 4 7.7 3	
	藤井	1 4 9.5 0	_		1 4 7.2 8	
伍	Pearson	*****	-	156.13	_	
	藤井	Million	400	153.06	4000	
脛 骨佑	Pearson	ETC.LA	Annual State of State		151.68	
	藤井	fices	itana.	-	1 4 9.8 1	
上腕骨(右	Pearson	Cine	Cina	155.15	1 44.1 8	
	藤井	Com	-	154.71	1 4 4.1 3	
機 骨佑	Pearson	154.62	Weigner .	1 5 8.5 4	152.76	
	藤井	1 5 2.1 3	_	156.00	1 4 9.9 2	
伍	Pearson	warene	158.21	158.21	153.10	
	藤井	_	1 5 6.3 3	156.33	1 5 0 . 9 5	

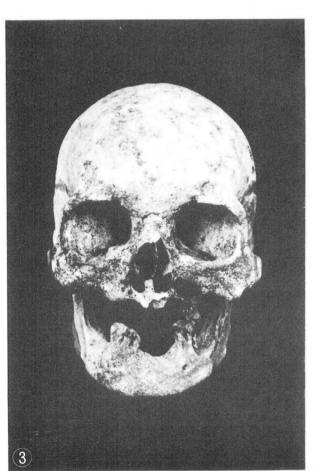
参考文献

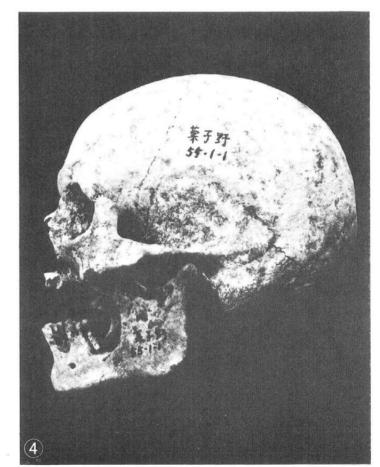
- 1. 城 一郎, 1938 : 古墳時代日本人人骨の人類学的研究。人類学輯報 1。
- 2. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.
 - l. Gustav Fisher Verlag. Stuttugart: 429-597.
- 松下孝幸,1981 :日守地下式古墳出土の人骨。宮崎県文化財調査報告書、第23集: 169-178。
- 4. 松下孝幸,1981 :宮崎県上の原地下式古墳出土の人骨。宮崎県文化財調査報告書、第24 集:114-133。
- 5. 松下孝幸,1982 :山口県朝田墳墓群第Ⅲ地区出土の人骨。山口県埋蔵文化財調査報告、 第64集:179-206。
- 6. 松下孝幸,1982 : 鹿児島県諏訪野地下式土壙3号出土の古墳時代人骨。大口市埋蔵文化財 発掘調査報告書、第2集:11-15。
- 7. 松下孝幸,分部哲秋,1982 :宮崎県国富町本庄28号地下式古墳出土の人骨。宮崎考古第 8 号:16-20。
- 8. 松下孝幸, 他, 1983 :山口県豊北町土井ケ浜遺跡出土の人骨。
- 9. 松下孝幸,野田耕一,1983 :宮崎県高原町旭台地下式横穴出土の古墳時代人骨。宮崎県文 化財調査報告書。
- 10. 永井昌文, 1981 : 古墳時代人骨。季刊人類学、12:18-26。
- 11. 内藤芳篤,1973 :灰塚地下式横穴人骨。灰塚遺跡:72-77。
- 12. 内藤芳篤, 1974 :人骨とその埋葬方法。大萩遺跡(1) :55-62。
- 13. 内藤芳篤, 松下孝幸, 1976 : 南九州出土の古墳時代人骨。解剖誌、51:279。
- 1 4. 佐野 一, 1965 : 九州地方古墳時代人々骨の研究(予報)。日本人類学会・日本民族学会連合大会第20回紀事: 2 1 2 2 1 4。
- 1 5. 島 五郎, 寺門之隆, 1957 : 近畿地方古墳時代人頭骨について(略報)。人類誌、6 6:
 5 7 6 4。
- 16. 寺門之隆, 1981 :古墳時代人骨。人類学講座、5:101-121。
- 17. 鈴木 尚, 1963 :日本人の骨。岩波書店、東京。

18. Suzuki, H, 1969: Microevolution changes in the Japanese Populstion from the Prehistoric Age to the Present-day. J. Fac. Sci., Univ. Tokyo. Sec. V, 3: 279-309.







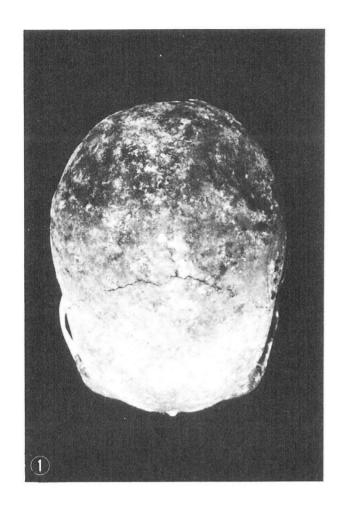


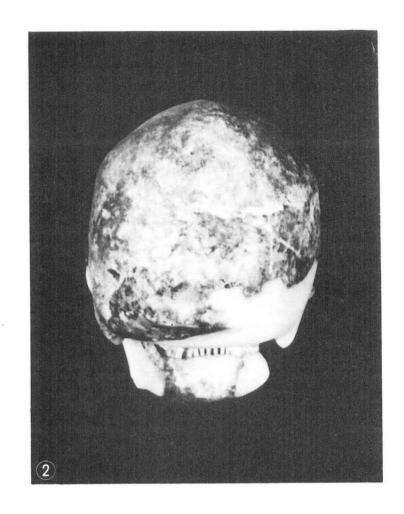
(1) 55年 1 号墳 1 号人骨 (男性・熟年)

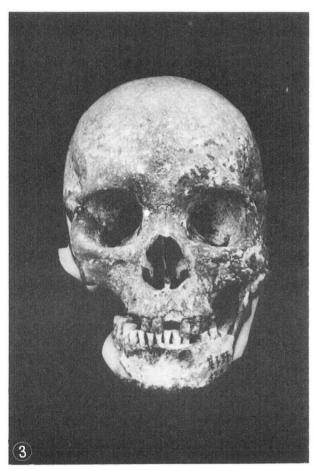
1 = 上面 2 = 後面

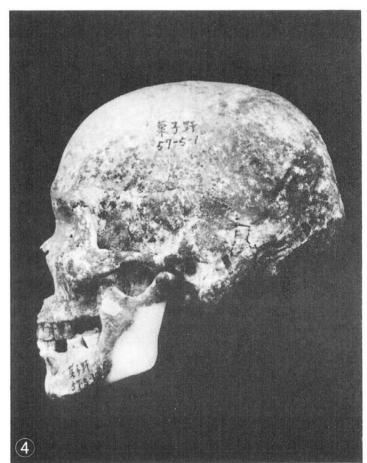
3 =前面

4 =側面





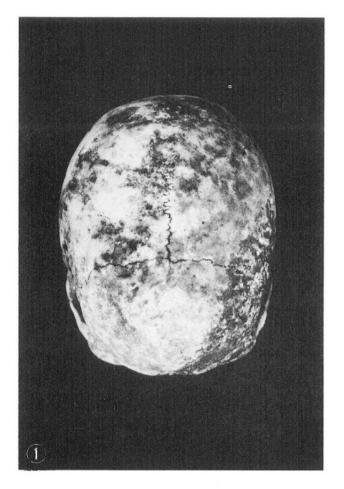


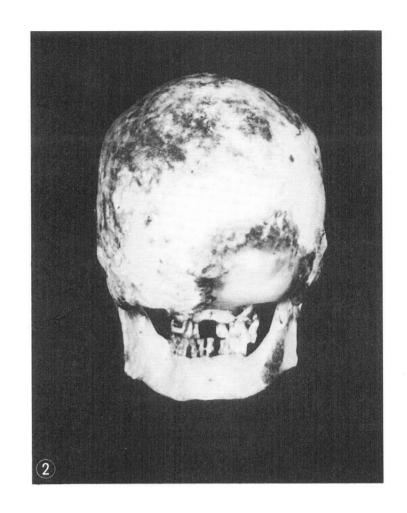


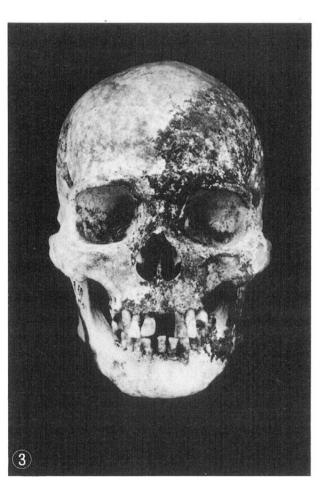
(2) 57年5号墳1号人骨(男性・熟年)

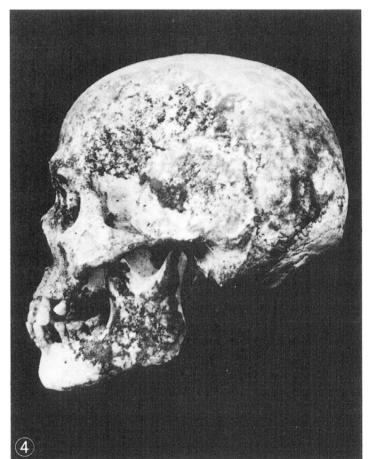
1 = 上面 2 = 後面

3 = 前面 4 = 側面





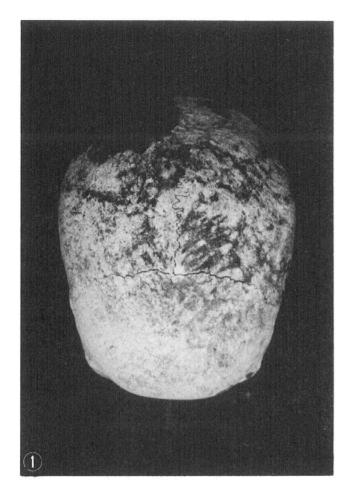


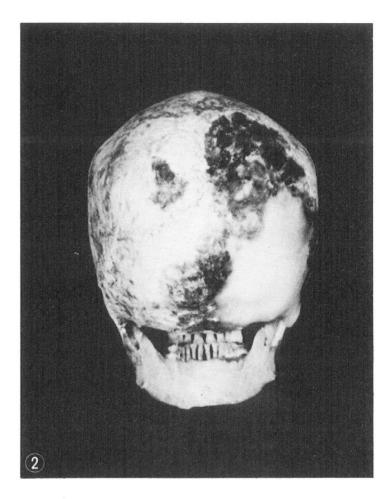


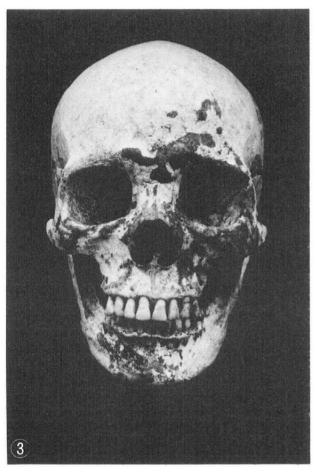
(3) 57年 5 号墳 3 号人骨 (男性·熟年)

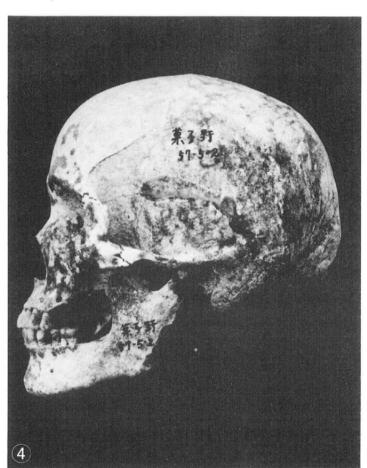
1=上面 2=後面

3=前面 4=側面





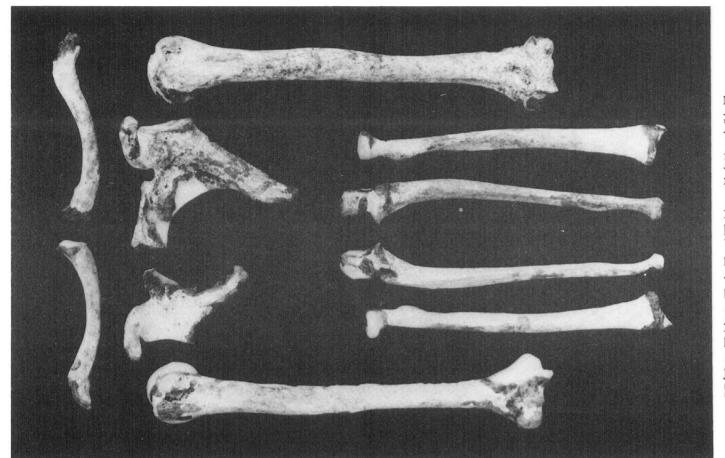




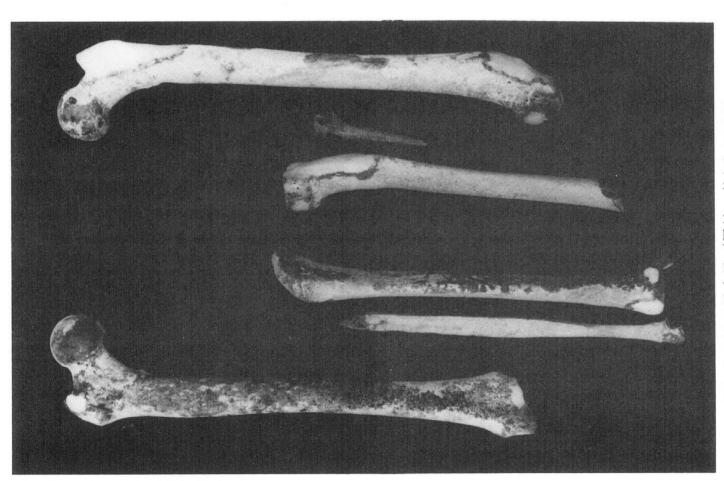
(4) 57年5号墳2号人骨(女性・熟年)

1 = 上面 2 = 後面

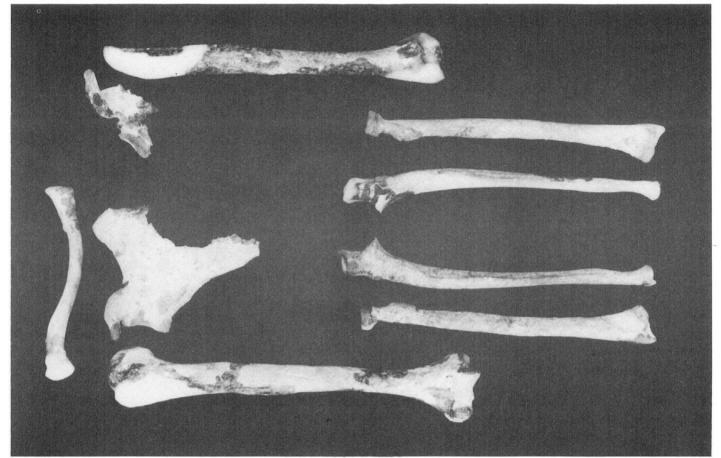
3 = 前面 4 = 側面



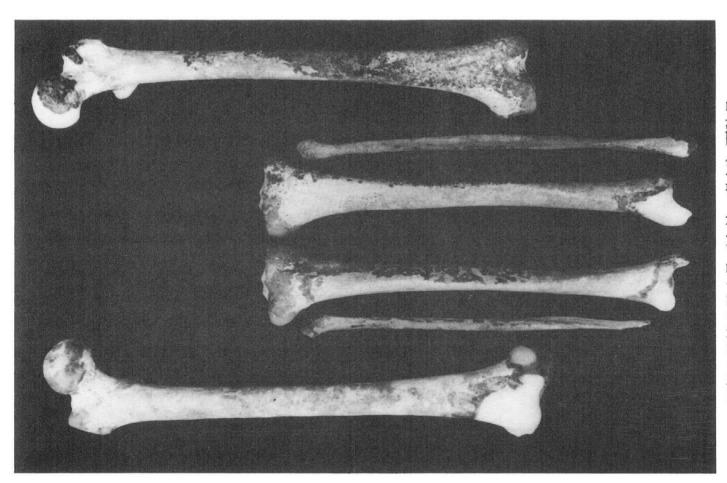
57年5号墳3号人骨(男性・熟年)上肢骨



57年5号墳3号人骨(男性・熟年)下肢骨



57年5号墳2号人骨(女性・熟年)上肢骨



57年5号墳2号人骨(女性・熟年)下肢骨

都城市文化財調查報告書

第 3 集

都 城・中 之 城 跡 菓子野地下式横穴

発 行 昭和58年3月31日

都城市教育委員会

編集都城市立図書館

印刷 侑文昌堂